

2010年仮説実験授業研究会 冬の沖縄大会の分子模型ナイター

2010. 2. 22 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

2010年1月4日～6日に、沖縄県那覇市の沖縄ホテルで行われた2010年仮説実験授業研究会冬の合宿研究会沖縄大会の分子模型ナイターのようすをお伝えします。

めんそーれ

今回の沖縄行きはずいぶん前に決めて、珍しく「首里城に行ってみよう」とか、「ひめゆりの塔だけは絶対行きたい」と観光をしようと思い、1月3日に出発しようとしたけれど、結局、飛行機のチケットがとれず、1月4日に出発しました。いつものように、ほとんど寝ない状態で家を朝5時頃に出発し、千歳を7時半に出てからは、乗り継ぎの時以外、ずっと寝ていました。

会場の沖縄ホテルに着いたのは2時過ぎでした。ゆいレールを安里駅で降り、10分ほど歩いたらホテルの看板が見え、入ると玄関に100億倍の水分子がお出迎え。なんかホッとしました。

着いたら、もう全体会が始まっていて、なにやら新作の授業書発表と聞き、遅ればせながらと発表を聞きに行ったけど…。「ちょっとボクには無理」と思いながら、資料係に提出する資料を用意するために、会場から脱出し、無事に資料を提出しました。

お昼を食べていなかったもので、神奈川の山口さんに案内してもらって近所の市場に行き、そこで沖縄そばを食べました。なんかはっきりしない味なんだけど、そういうものなんだろうなと思うことにしました。

全体会にちょっと顔を出したり、売り場をうろうろしたりしているうちに時間が過ぎ、正男さんと夕食を食べ、ナイターの準備をしました。



1 日目は水→エタノール→ブドウ糖→砂糖

大会参加者が100人と少ない上に、ナイターがいつもより多いので、あまり人は来ないかなと正男さんとのんびりしていたら、ポチポチと参加する人が来てくれて、水やエチルアルコールから作り始めました。

驚いたのは沖縄の湿度の高さで、いつまでたっても水分子が乾かなくて困りました。冬でこれだと他の季節はどうなってしまうんでしょうね？

今回、とても楽だったのは、実行委員長の乾さんが発泡スチロール球を全部、用意してくれたからです。ありがとー！

ブドウ糖や砂糖をみなさんが作っているとき、乾さんが沖縄でのDNAの分子模型作りの会の構想を話してくれたのはうれしかったです。正男さんの会があちこちであるといいなー。

沖縄のサークルの方が観光名所を教えてくれて、いろんな話をしているうちに、夜はどんどん更けていったのでした。

2 日目は方解石

昼間は、《月と太陽と地球》の授業でのようすを全体会でちょっと話しました。

この日の夕食は沖縄そばがあって、なんと昨日の市場と同じ味でちょっと驚き、でも、「あー、沖縄の味だったんだ」とちょっと納得しました。

夜になって、ナイターの時間になっても作る人が来ません。方解石は作ったことが無かったので、自分一人でものんびり作るかと思いながら、組み立て台を切り取って組み立てていたら、ボク以外に2人、作りに来てくれました。

ナイター情報の掲示板にある通り、終了は午前2時くらいでしたが、ボクも入れて3人とも方解石を完成できたのです。さあ、夏の能登大会は何を作りましょう？

